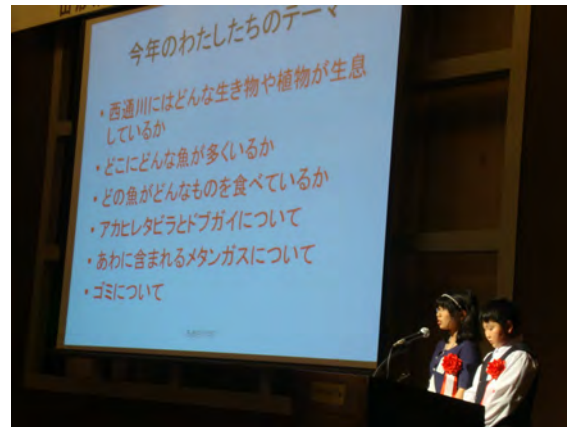


第13回 環境やまがた大賞 受賞者のご紹介

山形県では、地球環境又は地域環境の保全と創造に関する普及啓発、実践活動を行い、大きな成果が認められる個人、団体（グループ、NPO、学校等）を募集、選考のうえ、顕彰しています。

その活動を広く紹介することにより、県民の皆様による主体的な環境保全活動を促進することを目的としています。平成24年度は3団体を顕彰しましたのでご紹介します。

なお、鈴木康之さんと遊佐町立西遊佐小学校は、別々の推薦者からの応募でしたが、選考委員会において「一体的な活動と評価し、連名で顕彰するにふさわしい」とされたため、特例的に連名での受賞となりました。



表彰式は、平成24年6月5日に開催された、「山形県地球温暖化防止県民運動推進大会」の中で行われ、吉村美栄子知事から各受賞者に賞状が手渡されました。



第13回
環境
やまがた
大賞

楯山愛好会(村山市)

オオムラサキが飛び交う里山を取り戻す

楯山愛好会は、楯岡地区の中心に位置する自然豊かな楯山の保全活動に地域一体となって地道に取り組んでいます。

4年前には、十数年絶えていた、国蝶オオムラサキの飛翔の確認に成功しました。

さらに、楯岡小学校と協力しながら、植林作業や伐採木を利用したきのこの植菌など環境学習の支援も行っています。



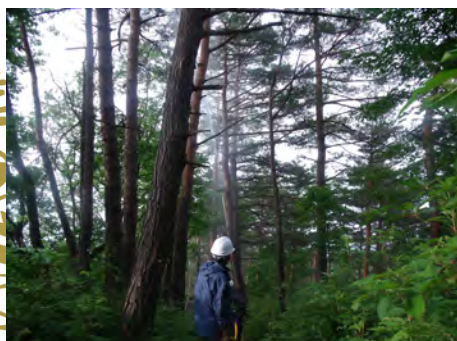
第13回
環境
やまがた
大賞

羽黒の森を守る会(白鷹町)

みんなで守る羽黒の森の松並木

羽黒の森を守る会は、「羽黒の森」と称される羽黒神社の表参道の樹齢100~400年と言われる455本の松並木を松枯れから守り後世に伝えるため、設立されました。

以来、地域一体となって、松枯れ防止対策や植栽などに取り組むとともに、森の伝承をまとめてマップや案内板、紙芝居を作成し積極的に発信したり、「森の学校」を開催するなど環境学習にも貢献しています。



第13回
環境
やまがた
大賞

鈴木 康之さん
遊佐町立西遊佐小学校（遊佐町）

～ 命あふれる西通川とともに生きる ～

西遊佐小学校では、鈴木康之さんと長年にわたり協働し、学区近くを流れる西通川をフィールドとして「ざっこしめ」（魚獲り）の体験学習（「総合的な学習」）に取り組んできました。身近な川にすむ生き物とふれあい、地域の環境の素晴らしさとそれを守ることの大切さを学んでいます。

さらに、地域の方々と協力しあいながらクロマツ林の保全活動や海岸清掃活動にも参加しています。

